

# 食べる“関節のサポーター”：カツオエラスチン



Hayashikane

## ■ あきらめないで！ 膝の痛み・アクティブシニアの救世主

40歳以上の男女1,175名を対象とした「膝の健康」に関する調査によると、**63%が膝の痛みを抱えていることが分かりました。**

(参考: 科研製薬株による調査: <http://www.kaken.co.jp/nr/release/nr20071019.pdf>)

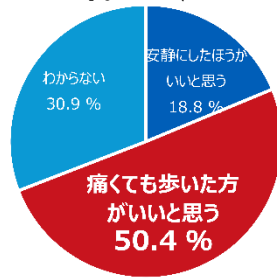
別の調査では、**膝痛を抱えながらも70代の2人に1人(50.4%)が歩いたほうが良いと考えており、健康と運動への意識の高さがうかがえます。**

(参考: オムロンヘルスケア株による調査: <https://www.healthcare.omron.co.jp/corp/news/2019/0909.html>)

### 「アクティブシニア」と「あきらめシニア」の二極化！

70代:n=1,546

さらに「膝痛などの健康のためのケアとしてどんなケアを取り入れているか」を確認したところ、70代の2人に1人(43.8%)がウォーキング、3人に1人(34.3%)が定期的な運動を行っている反面、何もしていない人が3割にもものぼるそう。



3割: 老化現象として受け入れています



どんどん膝が痛く、不健康に...

「もうあきらめている...」

そんなあなたにおすすめなのが

“**靭帯成分**”エラスチン！！

アクティブシニアはもっとアクティブに

◇◇◇◇ 靭帯は加齢とともに弱くなります ◇◇◇◇

< 膝の靭帯 >

靭帯とは...

- 靭帯は骨と骨を結合し、関節の安定性維持に関与しています。
- エラスチンが豊富な弾力のある強靱な組織です。
- 30代以降靭帯は弱くなり、70代では若いころの30%程度の力にしか耐えることができなくなります。

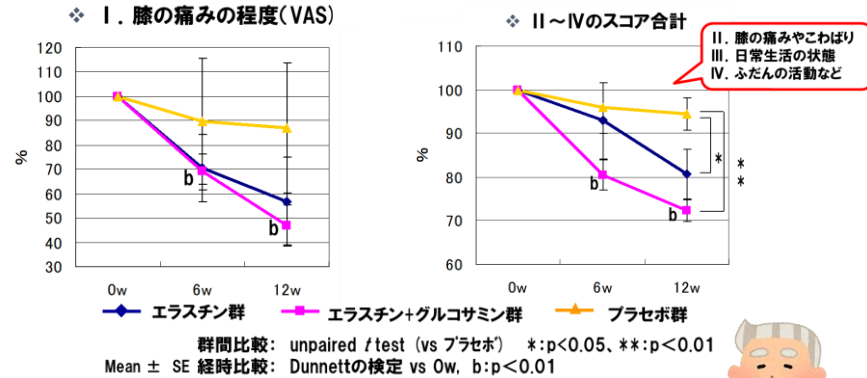
カツオエラスチンによって  
膝関節を支える靭帯を維持・強化！  
まさに食べる“関節のサポーター”です。



Hayashikane

## ■ エラスチンの膝痛軽減作用 (JKOM膝関節痛アンケート調査による)

※JKOM: 変形性膝関節症患者のために作られたアンケート

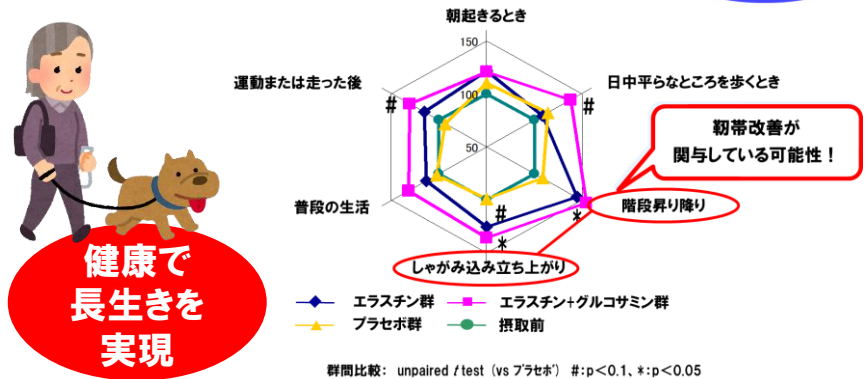


エラスチン摂取による膝痛軽減作用を確認！



## ■ エラスチン摂取による膝の悩みに対する体感改善

- 摂取前を100とし、12週間後のスコアを比較



エラスチン: 肌・血管・膝・バスト・肺



ヒシエクス: 抗糖化・肌・血糖値



アスコフィランHS: 肺炎・免疫力・血糖値

お問合せ・サンプル依頼  
林兼産業株式会社  
機能食品販売課  
(本社) TEL: 083-267-1837  
(東京) TEL: 03-5640-1651  
E-mail: kinou\_info@hayashikane.co.jp

